INPEX
Energy for a bright future

国際石油開発帝石株式会社

2016年3月期 第2四半期 決算説明会

2015年（平成27年）11月11日

本日の議題

1.　事業活動報告

代表取締役社長
北村 俊昭

2.　2016年3月期 第2四半期決算説明

取締役 常務執行役員
財務・経理本部長
村山　昌博

注意事項

当プレゼンテーションは、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

当プレゼンテーションに掲載される情報（将来予想に関する情報を含む）を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

事業活動報告

代表取締役社長

北村俊昭

2016年3月期 第2四半期 事業活動ハイライト(1/2)

■ 2016年3月期第2四半期決算	- 連結売上高 5,670億円(前年同期比14.5%減) - 純利益454億円(前年同期比48.7%減)
■ ネット生産量	- 日量50.3万BOE(前年同期比28%増)
■ イクシスLNGプロジェクト	- 生産開始予定:2016年末⇒2017年第3四半期(7月-9月) - 投資額:10%程度増加 - LNG生産能力:年産約840万トン⇒年産約890万トン - 作業進捗率: 約78%
■ アバディLNGプロジェクト	- 改定開発計画の提出:LNG年産750万トン規模のFLNGを採用したアバディガス田の開発を目指す
■原油価格下落への取り組み	- 探鉱・開発投資の削減継続、生産コストの削減 - 投資資金について、手元資金、キャッシュフロー、借入による万全な対応

2016年3月期第2四半期 事業活動ハイライト(2/2)

上流事業の持続的拡大

既存プロジェクトの進捗

- マレーシア サバ州沖深海R鉱区における油層の発見(4月)
- アラブ首長国連邦 アブダビ首長国陸上ADCO鉱区の権益取得(4月)
- オーストラリア 西豪州沖合 ヴァンゴッホ油田の生産再開(4月)
- 同沖合 コニストン油田の原油生産開始(5月)
- 新潟県 南桑山油田における新規油層の発見(6月)

再生可能エネルギーへの取り組み強化

- インドネシア共和国 サルーラ地熱発電事業への参画(6月)
- 2件目の太陽光発電(最大出力2,000キロワット)の稼働(7月)

イクシスLNGプロジェクト(1/4)

生産開始スケジュール及びLNG生産能力増加について

- 生産開始予定：2016年末⇒2017年第3四半期（7月-9月）
- 投資額：10%程度増加
- LNG生産能力：当初の年産約840万トン⇒年産約890万トン（約6%増加）

LNGプラント全景 （2015年8月）

CPFモジュール搭載作業（2015年6月）

イクシスLNGプロジェクト(2/4)

LNG貯蔵タンク （2015年7月、ダーウィンにて）

FPSOモジュール搭載作業 （2015年9月）

- 確認埋蔵量約9.7億 BOE（当社権益比率62.245%ベース）
- 生産量
  - -LNG年間約890万トン
  - -LPG年間約160万トン
  - -コンデンセート日量約10万バレル(ピーク時)
- 投資額:10%程度増加
- 権益比率:当社(オペレーター)62.245%、TOTAL 30.000%、東京ガス 1.575%、大阪ガス 1.200%、中部電力 0.735%、東邦ガス 0.420%、CPC社 2.625%、関西電力 1.200%
- 2012年1月に最終投資決定(FID)
- 2017年第3四半期(7月～9月)に生産開始予定
- 作業進捗率:約78%

イクシスLNGプロジェクト(3/4)
沖合施設

INPEX

沖合施設のFID以降～2017年第3四半期の作業見通し

2012	2013	2014	2015	2016	2017(1月～9月)

詳細設計・資機材の調達

ガス輸送パイプラインの敷設

CPFおよびFPSOの建造、完成後フィールドへ曳航

沖合施設の設置・繋ぎこみ・試運転

生産井掘削・仕上げ作業

生産開始

ガス輸送パイプラインの敷設作業(2015年3月)

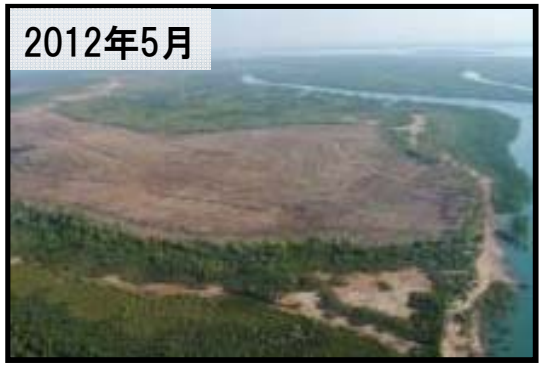
沖合生産・処理施設(CPF)の進水の様子(2015年9月)

イクシスLNGプロジェクト (4/4)
陸上施設

INPEX

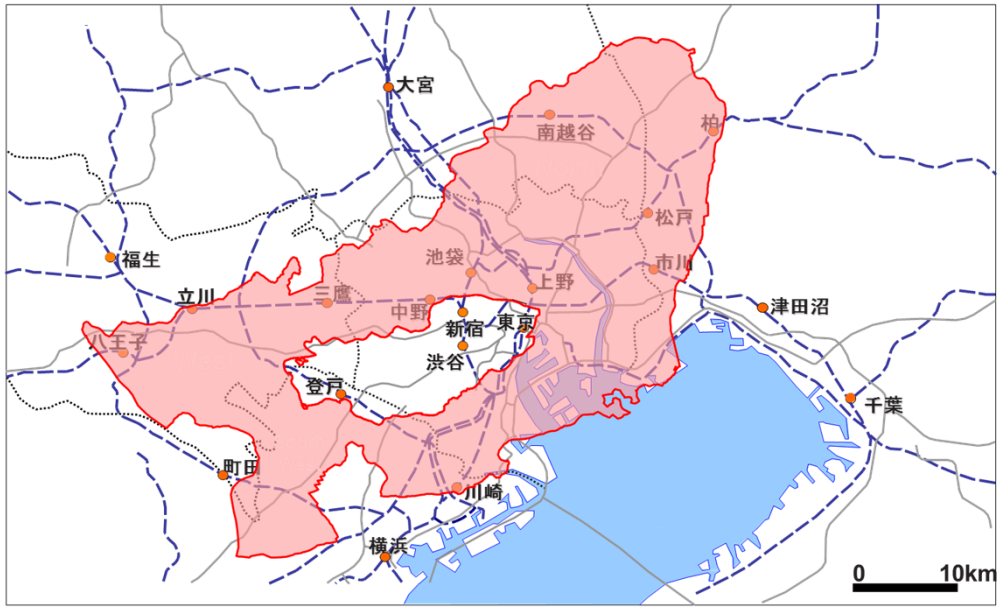
陸上施設のFID以降～2017年第3四半期の作業見通し

2012	2013	2014	2015	2016	2017(1月～9月)
詳細設計・資機材の調達					
	LNGプラントモジュールの建造				
	タンク・発電設備・出荷用桟橋等の建設				
			LNGプラントモジュールの搬入・据付・組立		
				試運転	
					生産開始



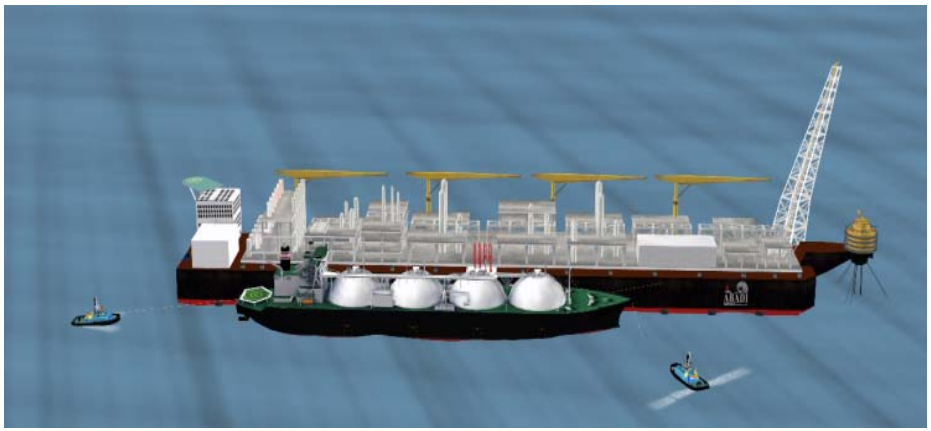
アバディLNGプロジェクト

- 本年9月、インドネシア政府へ改定開発計画を提出
  - ✓ 年産750 万トン規模のフローティングLNG（浮体構造に天然ガス液化・貯蔵・出荷設備を搭載した施設）を採用
  - ✓ 現在、インドネシア政府と改定開発計画について協議中
  - ✓ 改定開発計画に基づくFEED作業開始に向けた準備を進める



アバディガス田（イメージ）

■ 権益比率
-当社(オペレーター)65%、Shell35%
■ アバディガス田改定開発計画
-開発方式：Floating LNG
-生産量：
LNG：年間750万トン
コンデンセート：日量約24,000バレル
■ 開発準備中



アバディの開発予想図（イメージ）

2016年3月期　上半期トピックス

既存プロジェクトの進展

アブダビ：2015年4月ADCO鉱区の取得
- 当社権益比率：5%
- 生産量：日量約160万バレル。2017年までに日量180万バレルに引き上げるべく開発作業を実施中

陸上パイプライン

日本：新潟県 南桑山油田における新規油層の発見

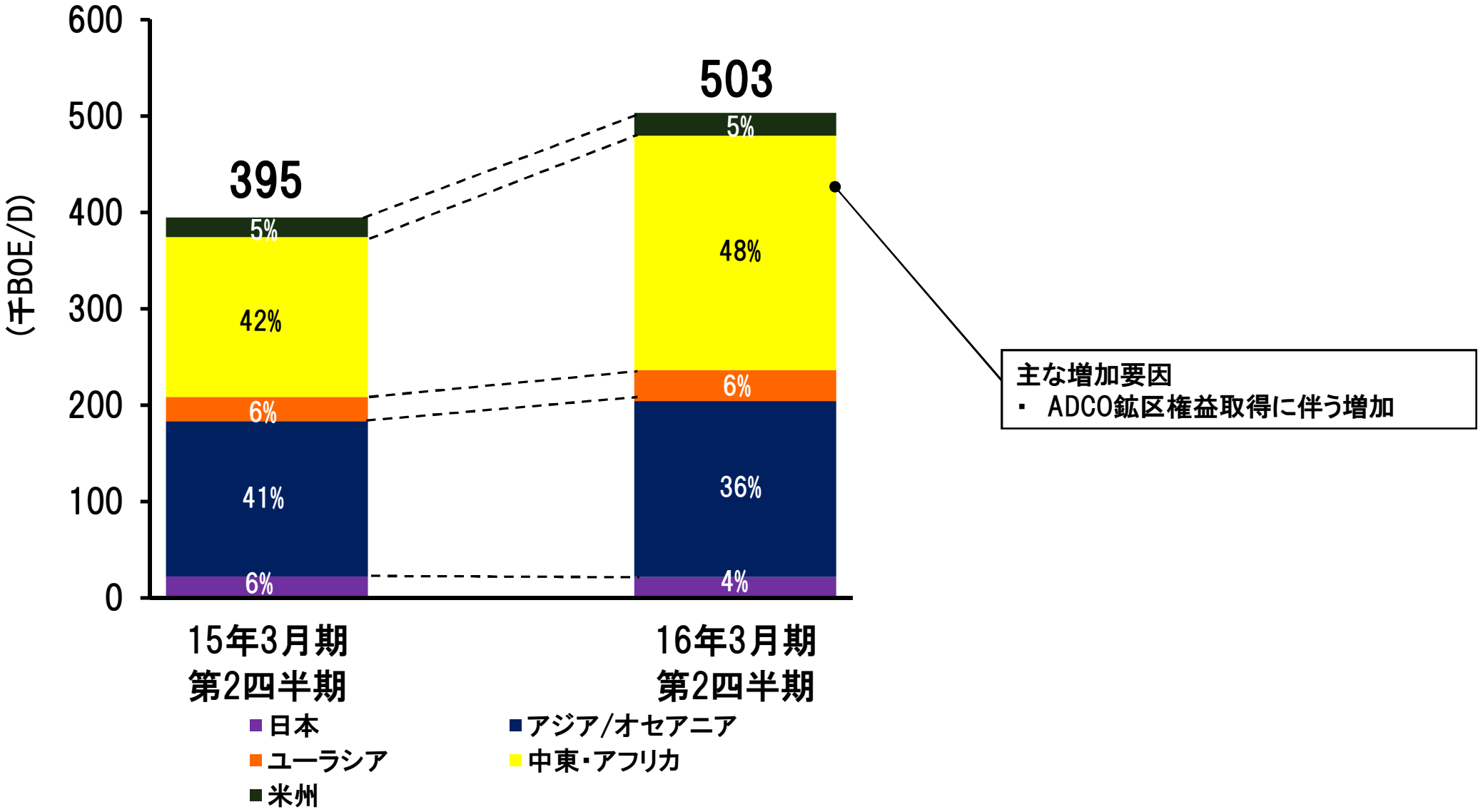
豪州 ：ヴァンゴッホ油田/コニストン油田
- 当社権益比率：47.499%
- 2015年4月ヴァンゴッホ油田にて生産再開
- 2015年5月コニストン油田にて原油生産開始

沖合生産・貯油出荷施設(FPSO)

マレーシア：サバ州沖深海R鉱区における油層の発見
- 当社権益比率: 27.5%

●生産プロジェクト
●探鉱プロジェクト

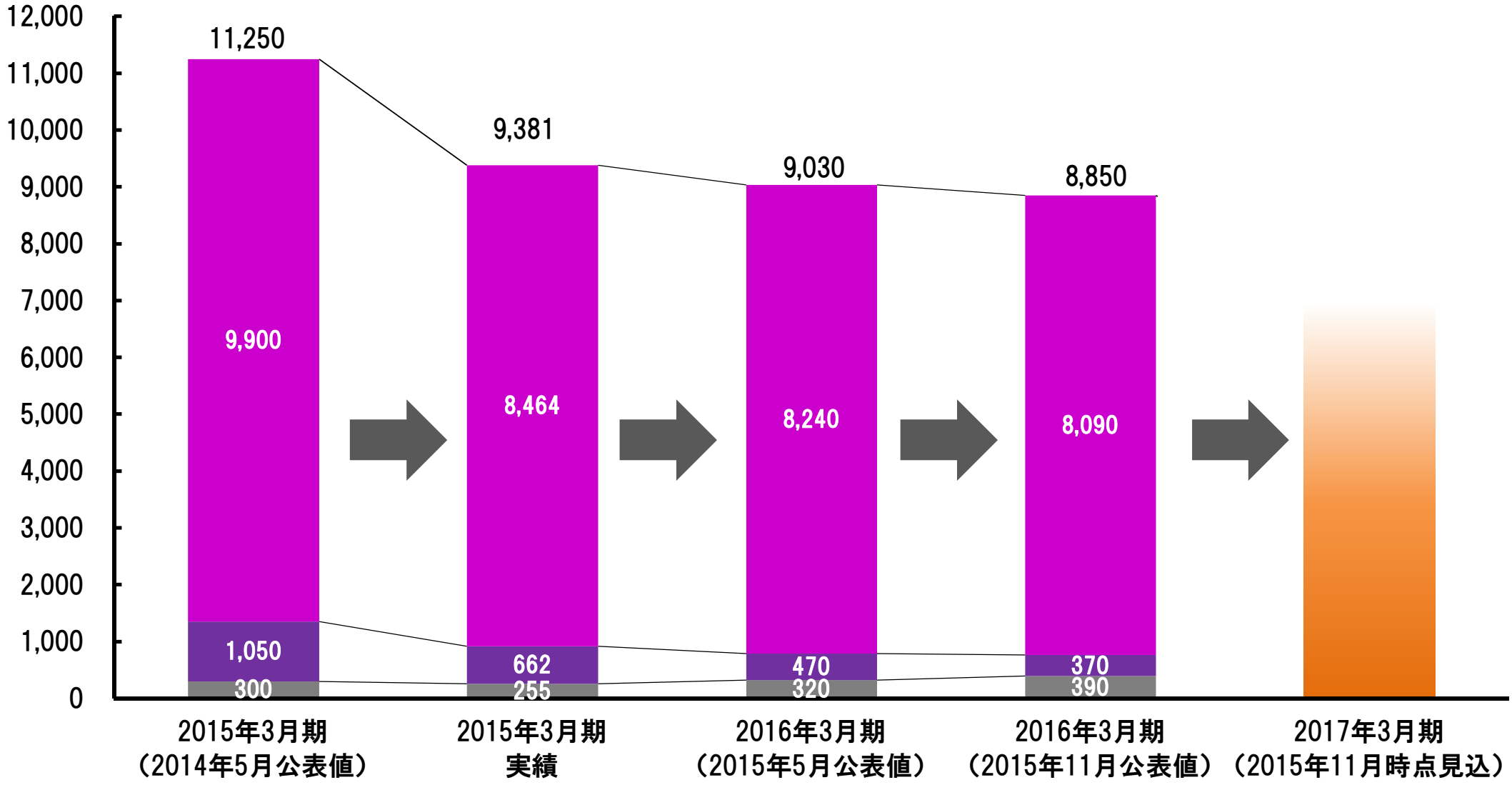
2016年3月期 第2四半期 ネット生産量*



＊ 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しています。

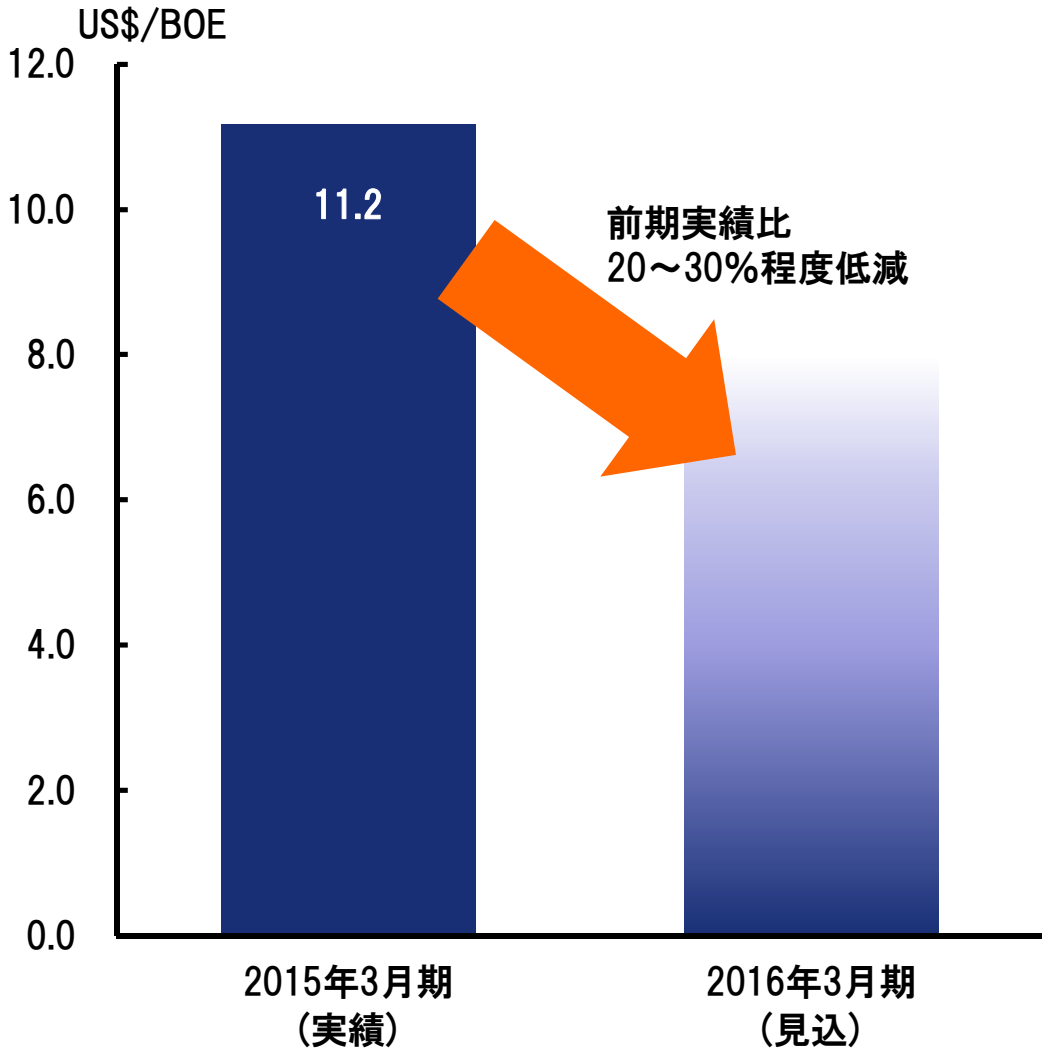
原油価格下落への取り組み（1/2）

投資額の2015年3月期(実績)と2016年3月期見込みの比較(単位:百万米ドル)



原油価格下落への取り組み（2/2）

原油換算1バレル当たりの生産コスト*



＊　ロイヤルティを除く

- 投資の削減・先送りに加え、効率性を追求した結果、バレルあたり生産コストが低減
- 生産量の大幅増加に加え、成熟プロジェクトで生産コストを削減したことで、バレルあたり生産コストは、昨年度比20～30%低減する見込み
- 中長期的に一定期間低油価が続いたとしても、利益を上げることのできる強靭な企業体質の構築

2016年3月期 第2四半期決算説明

取締役
常務執行役員
財務・経理本部長 村山昌博

2016年3月期 第2四半期決算ハイライト

	15年3月期第2四半期 (2014年4月-9月)	16年3月期第2四半期 (2015年4月-9月)	増減	増減率
売上高　　（億円）	6,631	5,670	△961	△14.5%
原油売上高	4,376	3,968	△407	△9.3%
天然ガス売上高(LPG含む)	2,167	1,633	△534	△24.7%
その他	86	68	△18	△21.7%
営業利益　　（億円）	3,467	2,467	△999	△28.8%
経常利益　　（億円）	3,684	2,588	△1,096	△29.8%
親会社株主に帰属する 純利益　　（億円）	887	454	△432	△48.7%
1株当たり純利益 （円）	60.77	31.15	△29.62	△48.7%

期中平均株式数(連結)2016年3月期第2四半期　1,460,357,200株

期中平均油価(Brent) ($/bbl)	106.56	57.31	△49.25	△46.2%
期中平均為替　　(¥/$)	103.01	121.88	18円87銭円安	18.3%円安

原油売上高

	15年3月期第2四半期 (2014年4月-9月)	16年3月期第2四半期 (2015年4月-9月)	増減	増減率
売上高 (億円)	4,376	3,968	△407	△9.3%
販売量 (千bbl)	40,048	57,805	17,757	44.3%
海外平均単価 ($/bbl)	105.75	56.52	△49.23	△46.6%
国内平均単価 (¥/kl)	71,325	47,043	△24,282	△34.0%
平均為替 (¥/$)	102.93	121.36	18円43銭円安	17.9%円安

地域別販売量 (千bbl)	15年3月期第2四半期 (2014年4月-9月)	16年3月期第2四半期 (2015年4月-9月)	増減	増減率
日本	404 (64.2千kl)	290 (46.2千kl)	△113 (△18.0千kl)	△28.1%
アジア・オセアニア	5,683	6,837	1,154	20.3%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	5,538	6,028	491	8.9%
中東・アフリカ	28,409	43,963	15,554	54.8%
米州	15	687	672	-
合計	40,048	57,805	17,757	44.3%

天然ガス売上高(LPG除く)

	15年3月期第2四半期 (2014年4月-9月)	16年3月期第2四半期 (2015年4月-9月)	増減	増減率
売上高 (億円)	2,058	1,577	△481	△23.4%
販売量 (百万cf)	152,056	160,634	8,577	5.6%
海外生産分平均単価 ($/千cf)	12.78	7.23	△5.55	△43.4%
国内分平均単価 (¥/m^3)	57.14	54.72	△2.42	△4.2%
平均為替 (¥/$)	102.56	121.23	18円67銭円安	18.2%円安

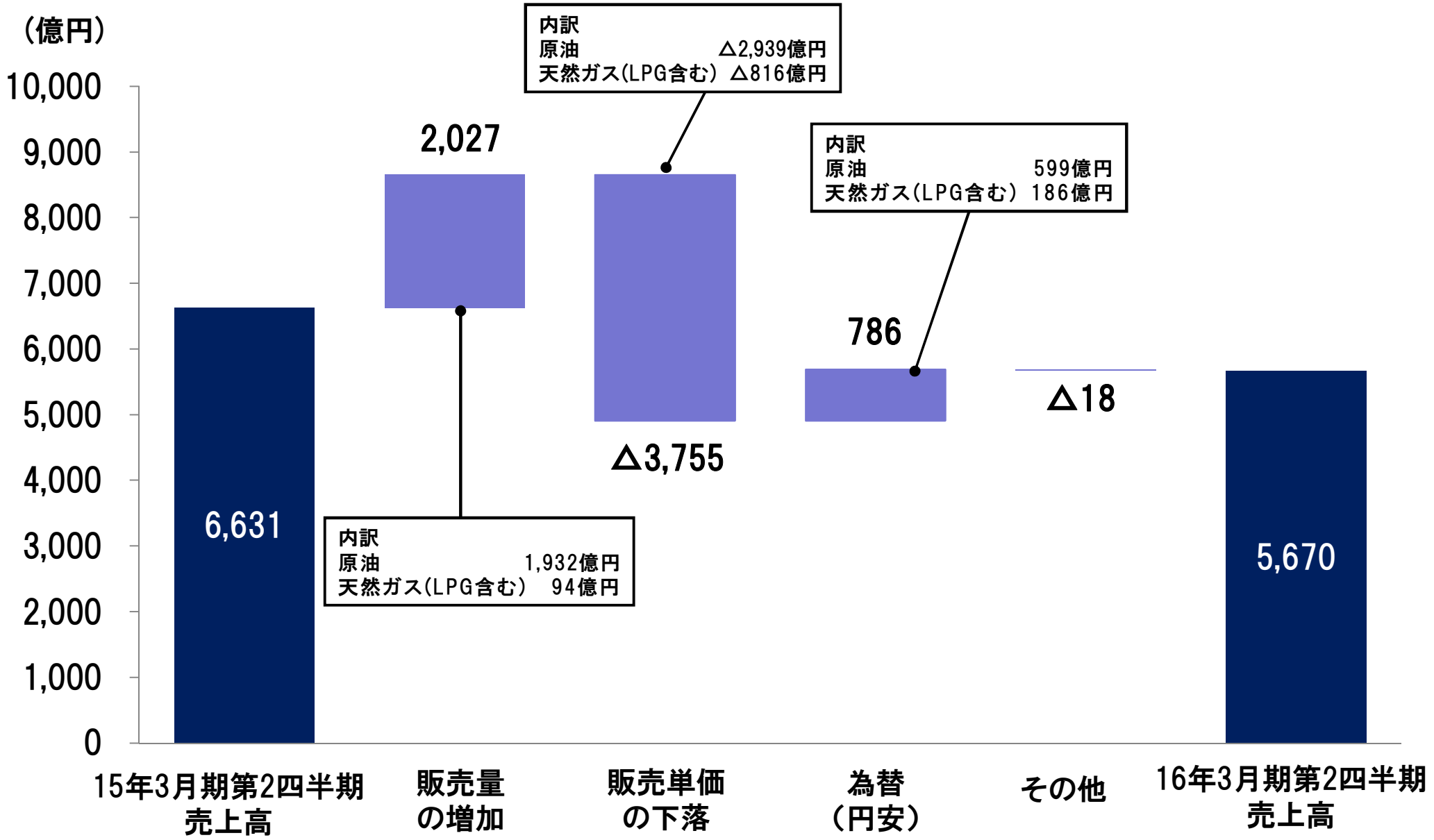
地域別販売量 (百万cf)	15年3月期第2四半期 (2014年4月-9月)	16年3月期第2四半期 (2015年4月-9月)	増減	増減率
日本	29,694 (796百万m^3*)	28,725 (770百万m^3*)	△969 (△26百万m^3*)	△3.3%
アジア・オセアニア	103,482	114,556	11,074	10.7%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	-	-	-	-
中東・アフリカ	-	-	-	-
米州	18,880	17,353	△1,528	△8.1%
合計	152,056	160,634	8,577	5.6%

*1m^3当たり41.8605MJ

※ なお、LPGの売上高は以下の通り。

	15年3月期第2四半期 (2014年4月-9月)	16年3月期第2四半期 (2015年4月-9月)	増減	増減率
売上高 (億円)	109	55	△53	△49.2%

2016年3月期 第2四半期
売上高　増減要因分析



損益計算書

（億円）	15年3月期第2四半期 (2014年4月-9月)	16年3月期第2四半期 (2015年4月-9月)	増減	増減率
売上高	6,631	5,670	△961	△14.5%
売上原価	2,578	2,735	157	6.1%
売上総利益	4,053	2,934	△1,118	△27.6%
探鉱費	155	40	△114	△73.6%
販売費及び一般管理費	430	425	△4	△1.1%
営業利益	3,467	2,467	△999	△28.8%
営業外収益	301	398	96	32.1%
営業外費用	84	278	193	230.1%
経常利益	3,684	2,588	△1,096	△29.8%
法人税等合計	2,779	2,195	△584	△21.0%
非支配株主に帰属する純損益	17	△61	△79	-
親会社株主に帰属する純利益	887	454	△432	△48.7%

販売量の増加	+2,027
販売単価の下落	△3,755
為替(円安)	+786
その他	△18

原油売上原価：	1,876
（増減）	+233
天然ガス売上原価(注)：	800
（増減）	△70

注)LPGを含む。

主な要因

有価証券売却益　（増減 +68）

主な要因

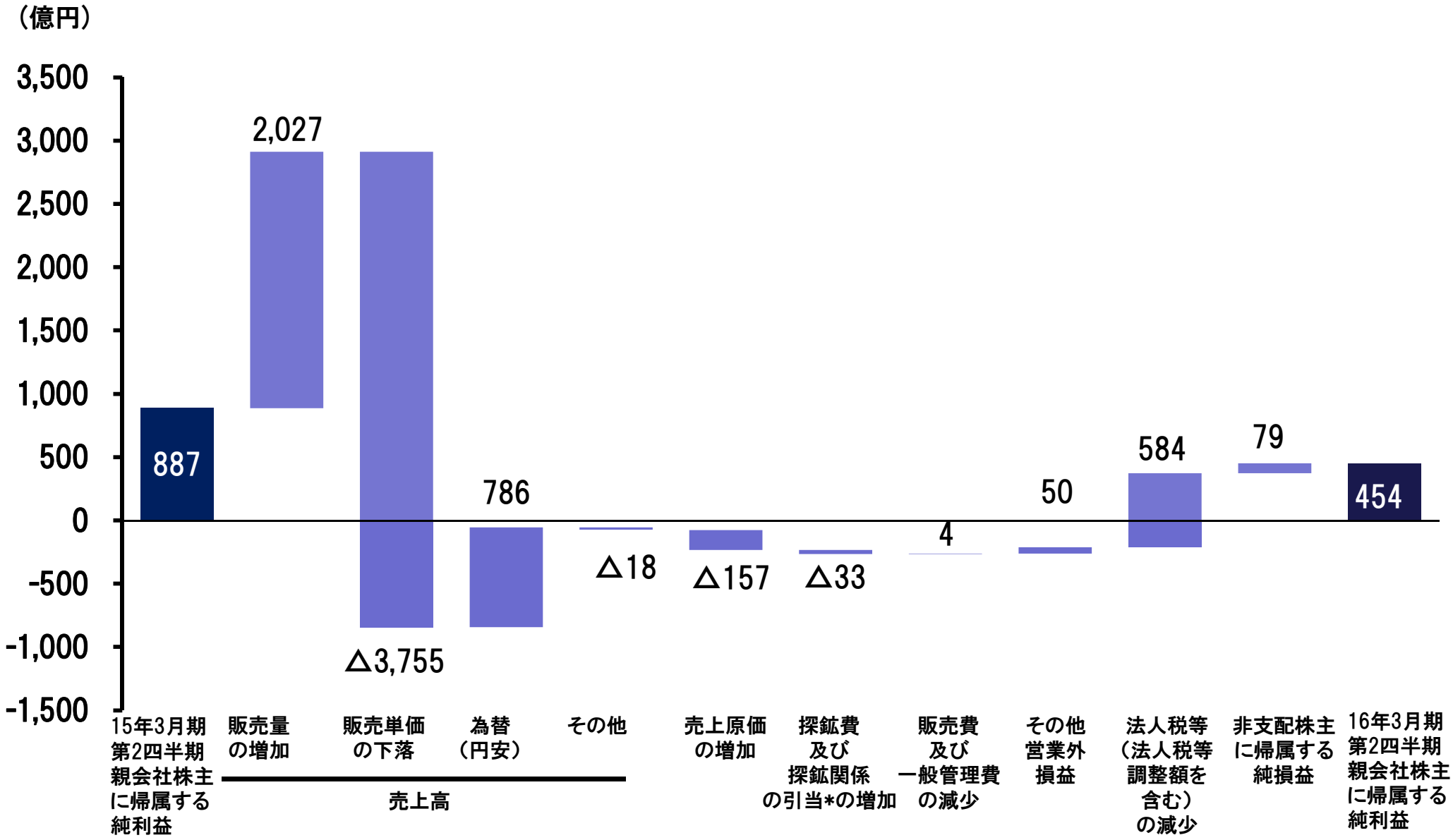
生産物回収勘定引当金繰入額

（増減 +131）

営業外収益・費用

（億円）	15年3月期第2四半期 （2014年4月-9月）	16年3月期第2四半期 （2015年4月-9月）	増減	増減率
営業外収益	301	398	96	32.1%
受取利息	53	42	△10	△20.3%
受取配当金	22	25	2	11.0%
有価証券売却益	46	114	68	147.3%
持分法による投資利益	79	-	△79	-
為替差益	53	91	38	72.9%
その他	46	124	77	168.4%
営業外費用	84	278	193	230.1%
支払利息	12	21	9	77.3%
持分法による投資損失	-	9	9	-
生産物回収勘定引当金繰入額	49	180	131	267.6%
探鉱事業引当金繰入額	0	16	16	-
その他	22	50	27	119.0%

2016年3月期 第2四半期
純利益　増減要因分析



*生産物回収勘定引当金繰入額及び探鉱事業引当金繰入額

貸借対照表

（億円）	15年3月期末	16年3月期 第2四半期末	増減	増減率
流動資産	13,424	9,598	△3,825	△28.5%
有形固定資産	14,976	16,830	1,854	12.4%
無形固定資産	4,587	5,879	1,291	28.2%
生産物回収勘定	7,032	7,478	445	6.3%
その他	6,187	6,824	637	10.3%
生産物回収勘定引当金	△1,217	△1,394	△177	14.6%
資産合計	44,991	45,216	225	0.5%
流動負債	3,652	3,532	△120	△3.3%
固定負債	8,452	8,384	△67	△0.8%
純資産	32,887	33,300	413	1.3%
（うち非支配株主持分）	2,220	2,770	549	24.8%
負債・純資産合計	44,991	45,216	225	0.5%
1株当たり純資産額 （円）	2,099.95	2,090.59	△9.36	△0.4%

活用可能な手元資金残高※
7,690億円

- ・現預金 6,416億円
- ・長期預金 360億円
- ・有価証券 732億円
- ・活用可能な投資有価証券 183億円

※中長期ビジョンにおける2017年3月期までの投資に充当される待機資金

イクシス下流事業会社（持分法適用）の要約財務情報（100%ベース、内当社株式比率は62.245%）

- ・流動資産 389億円
- ・固定資産 2兆5,174億円
- ・総資産 2兆5,563億円

株主資本

（利益剰余金） +323億円

その他の包括利益累計額 △430億円

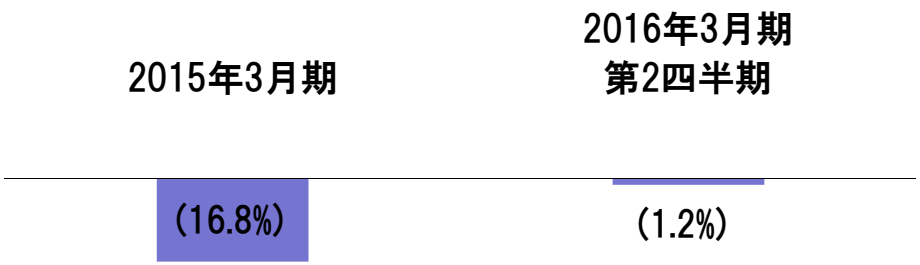
- ・その他有価証券評価差額金 △263億円
- ・繰延ヘッジ損益 +92億円
- ・為替換算調整勘定 △258億円

キャッシュフロー

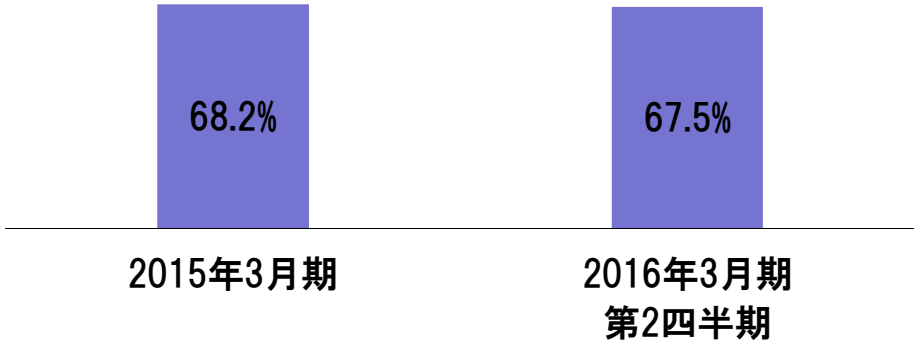
（億円）	15年3月期第2四半期 (2014年4月-9月)	16年3月期第2四半期 (2015年4月-9月)	増減	増減率
税金等調整前純利益	3,684	2,588	△1,096	△29.8%
減価償却費	256	351	94	37.0%
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	366	268	△98	△26.8%
生産物回収勘定(非資本支出)の増加額	△331	△293	37	△11.4%
法人税等の支払額	△2,763	△2,267	496	△18.0%
その他	△20	329	350	-
営業活動によるキャッシュフロー	1,192	976	△215	△18.1%
定期預金の預入による支出/払戻による収入	1,757	2,579	822	46.8%
長期預金の預入による支出/払戻による収入	△1,121	△638	483	△43.1%
有形固定資産の取得による支出	△2,280	△2,439	△159	7.0%
有価証券・投資有価証券の取得による支出/売却による収入	1,130	1,242	112	9.9%
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△386	△402	△16	4.2%
長期貸付けによる支出/回収による収入	△20	△1,922	△1,902	-
権益取得による支出	△178	△1,336	△1,157	-
その他	△43	△214	△171	-
投資活動によるキャッシュフロー	△1,142	△3,131	△1,988	174.0%
財務活動によるキャッシュフロー	32	469	437	-
現金及び現金同等物の期末残高	1,290	909	△381	△29.5%

財務指標

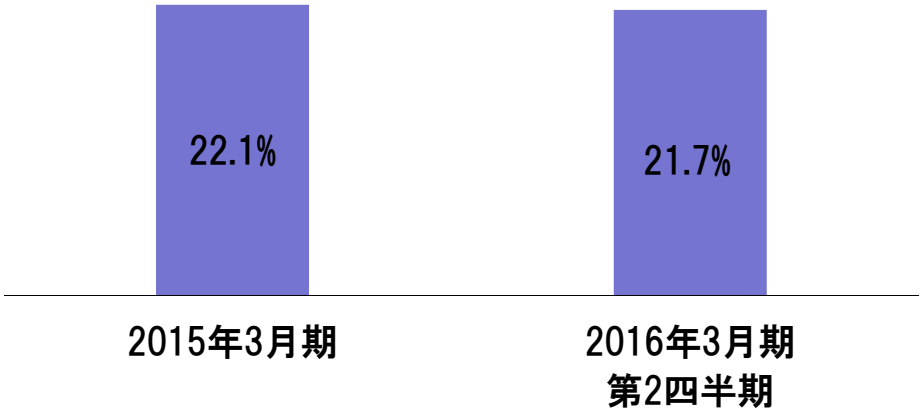
純有利子負債／使用総資本(ネット)*



自己資本比率**



D／Eレシオ***



- 財務指標については引き続き健全な水準を維持
- 足許の低油価が継続するリスクに備えて、外部借入により手許資金拡充
- 今後、財務指標は、現状よりは悪化することが見込まれるが、中長期的には目標値を略々維持できる見込み

* 純有利子負債／使用総資本(ネット)＝(有利子負債－現金及び預金－国債・地方債・社債等(時価のあるもの)－CP等－長期預金)／(純資産＋有利子負債－現金及び預金－国債・地方債・社債等(時価のあるもの)－ CP等－長期預金)
** 自己資本比率＝(純資産－非支配株主持分)／総資産
*** D/Eレシオ＝ 有利子負債／(純資産－非支配株主持分)

2016年3月期 第2四半期
業績予想値と実績値との差異

INPEX

◆前提条件

(2015年8月7日)	第2四半期連結累計期間 (前回発表予想)
Brent 油価($/bbl)	61.8
為替レート(円/US$)	120.7

(2015年11月10日)	第2四半期連結累計期間 (実績)
Brent 油価($/bbl)	57.3
為替レート(円/US$)	121.9

◆ 第2四半期連結累計期間 業績予想値と実績値との差異(2015年4月～9月)

	前回発表予想 (2015年8月7日)	実績値	増減	増減率
売上高 (億円)	5,880	5,670	△210	△3.6%
営業利益 (億円)	2,510	2,467	△43	△1.7%
経常利益 (億円)	2,550	2,588	38	1.5%
親会社株主に帰属する純利益 (億円)	400	454	54	13.5%

2016年3月期　連結業績予想の修正

INPEX

◆前提条件

(2015年8月7日)	上期	下期	通期
Brent 油価($/bbl)	61.8	60.0	60.9
為替レート(円/US$)	120.7	120.0	120.4

(2015年11月10日)	上期	下期	通期
Brent 油価($/bbl)	57.3※1	50.0	53.7
為替レート(円/US$)	121.9※2	120.0	120.9

※1　第1四半期実績63.5$/bbl、及び第2四半期実績51.3$/bblによる。　※2　第1四半期実績121.4円/$、及び第2四半期実績122.3円/$による。

◆ 連結通期業績予想(2015年4月～2016年3月)

	前回予想 2015年8月7日	今回予想 2015年11月10日	増減	増減率
売上高　（億円）	11,810	10,690	△1,120	△9.5%
営業利益　（億円）	4,710	4,180	△530	△11.3%
経常利益　（億円）	4,790	4,340	△450	△9.4%
親会社株主に帰属する純利益（億円）	700	700	-	-

◆ 1株当たり配当金

	第2四半期末	期末(予想)
2016年3月期　（円）	9	9